

6月12日（日）（その2）

9時40分ごろに佐々木さんが車で迎えに来てくれ、郊外にある彼のNPO事務所に向かった。

事務所には奥さんも来てくれていて、お茶などを出してくれた。

佐々木さんは農家の長男、お父さんは70歳を過ぎているが今も農作業をしている、という。6、7戸で集落営農をやっている。



あとでその傍を通ったが、写真のように圃場が整備されて大きなトラクターが入っている。リーダーは、一番若い50歳代の方という。収益は、所有地面積と労力で案分比例するのだ。

兼業の経験もあったお父さんのアドバイスもあって、地元の大学の工学部に進学した。

「ゼミの先生は伊達のお殿様の子孫にあたる方で、厳しいという前評判だったがとてもよい先生でした。正宗はもともと大崎の出身だったようです」と佐々木さん。（「そうですか。そういえば私の家の9軒向こうに足利本家のお宅があります」と私）大学ではハンドボール部。卒業後はIT関連の仕事で全国を飛び回っていた。人にも恵まれいい経験ができたが、身体を壊してしまい、療養することになった。

40歳を過ぎ心機一転、NPOを始めた。人と人を結びつけるリングの仕事、その軸は農家と消費者を結びつけること。「農家が行きづまっているのは、生産者に消費者の顔が見えず、声も届かないことなのです。JA任せになってしまっ」と。

「だから、こんなプロジェクトを準備してきたのです」と美しい色とりどりの縦長のボックスケースを数本取り出し、「これにお米を入れて2本～4本セットで贈答用、お祝は赤白、不祝儀は白黒などで買ってもらうのです」という。1本8合入りで女性でも片手で持ち上げられ、ふたが1合マスになっている。これにササニシキ、ササシグレ、ヒトメボレなどを入れてセットにするというのだ。

彼の都会暮らしの経験と独自のマーケットリサーチからたどり着いたプロジェクトなのだ。「この地元では、皆さん家に最低1袋（いったい）のお米がないと不安になるのです。1袋は30kg、しかし、都会ではだれもそんな多くの米を置きませんよね。だから、若い女性も買ってみようかと思えるようなセットにしたのです」。

「利き酒ならぬ利き米ができますね。それは面白い。じっさい、私はササニシキとかヒトメボレとか銘柄は知っていますが、味の違いは分かっていないのです。関西の人のほとんどは私と同じでしょう」と私。

「ササニシキは宮城の伝統的なお米で、コシヒカリは越後、越前経由のお米です。」

ヒトメボレはコシヒカリ系列なのです。もっちりして艶と甘みがある。ササニシキはあっさりしていてお米そのものといった味です。和食にあいます。ただ風水害に弱いので、その点からも災害に強いコシヒカリ系に遅れをとってしまいました」、「岩崎さんの滞在中にササニシキを食べられるようにします」。「ぜひぜひ」と私。

こんなことで、今回の農業視察のキーワードの一つがササニシキであることに気がついた。佐々木さんの農業再生への熱い思いの原点に、小さい頃食べたササニシキのおいしさがあることが次第に分かっていくのである。

佐々木さんは他にも、介護施設の介護従事者の能力育成の 10 日間コースを行ったり、県外での宮城県特産物の企画などを行っている。

そんな時に東日本大震災が発生した。NPO 立ち上げから 1 年足らずである。さいわい自宅や親族の家に大きな被害はなかった。

なんとか被災地の農業を再生させなければならない、と佐々木さんは思った。内陸部に耕作放棄地があることに思い至り、沿岸部の被災農家がとりあえずそこで営農を続けられないかと考えた。県の事務所などを訪ね、現地を回りながら耕作放棄地の状況を探索していた。

そんなときに、同じような考えをもった私が宮城県の農政課に電話し、佐々木さんと私を結ぶ細い糸が繋がったのである。

一わたり話を終えて、事務所の近くに住む佐々木さんのお姉さんのお宅を訪問、ご両親も来ておられた。笹に包んだ生麩もちを食べ、抹茶をたてていただいた。おいしかった。しばし歓談をして、西の鳴子温泉方面へむけて発った。

途中の大きなお店でお米を売っているのを見た。ササニシキもひとめぼれも 1 袋(30kg)玄米で 8400 円である（その場で精米してくれる）。コシヒカリは 9900 円、近年登場したつや姫は 15000 円である。





ついでながら、お米には「食味値測定結果」がついているものもあり、食味スコア 80 以上は「良」、おいしいのである。

帰ってから、京都の出町の柵形商店街で売られているお米を見た。すべて、コシヒカリ系で、ササニシキはなかった。5kg 入りもあったがほとんど 2kg 入りで 800 円から 1200 円ほど。京都産、滋賀産、富山産、宮城産、岩手産、そして新潟魚沼産が一番高かった。30kg に換算すると 12000 円～18000 円。割高である。市場の入り口でオーガニック野菜を売っている店に置かれていた「無農薬米」は 1kg で 2300 円。30kg では 69000 円、超高価米である。どんな人が買うのだろうか、農薬アレルギーの人なのだろうか…

(続く)